

2023(令和5)年度
事業計画書

2023(令和5)年3月

学校法人 藤村学園

東京女子体育大学

東京女子体育短期大学

目 次

2023(令和5年)度事業計画について	1
I 法人の運営	2
II 大学・短期大学の運営	5
III 教育	6
IV 学生支援	9
V 研究	12
VI 社会貢献・社会連携	13
VII 施設設備・キャンパス計画	15
VIII 管理・運営	16
IX 予算概要	21

別紙1 学園組織図

別紙2 2023(令和5)年度行事予定表

2023（令和5）年度 事業計画

本学園は、藤村トヨの建学の精神である「心身ともに健全で、質素で誠実、礼儀正しい女子体育指導者の育成」を基調として、体育・スポーツの知の獲得と深い洞察力を身につけ、運動文化伝承の担い手として、凛とした次世代のリーダーとなる人材を育成することを理念としています。このような理念のもと、大学・短期大学では各学科において教育目標を明確に示しており、社会に貢献できる人材の育成に努めていきます。

我が国の18歳人口は、2018（平成30）年以降減少局面に突入しており、2023（令和5）年は110万人、2032（令和14）年には初めて100万人を割って約98万人となると見込まれ、さらに、2040（令和22）年には約88万人にまで減少するとされています。

このように、高等教育機関を取り巻く環境がますます厳しさを増していく中、本学園は生き残りをかけて教育・研究の改革をし、教育の質の向上を図り、学生の確保を目指します。

財政面においては、経営基盤の改善と財政収支の均衡を図り、教育・研究活動の継続を主眼においた財務計画を推進するとともに、学生及び保護者の信頼を高める教育内容の充実に一層努め、建学の精神に基づき、より魅力ある大学を目指すための改革を進めていきます。

2023（令和5）年度は、急速に進む18歳人口の減少の中で、引き続き学生数の確保に向け、教職員が一体となり継続的に教育の質の向上に取り組むとともに、社会のニーズに柔軟に対応するべく新たな教育の展開を目指していきます。そして、コンプライアンスの確立に努めつつ、あらゆる限りの可能性を追求し、本書に掲げる事業計画を展開していきます。

なお、2023（令和5）年度事業計画は、学校法人藤村学園中期計画（令和2年度～令和6年度）との整合性を図りつつ、各項目において、PDCAサイクルの実践をより適切に実施可能なものとするために構成の一部改正を行っています。今後も中期計画に即した、より適切な事業計画の策定を目指して検証を重ねていきます。

I 法人の運営

1 理事会等の開催

- (1) 常任理事会 (理事 5人 週1回程度随時開催)
- (2) 理事会 (理事 9人 毎月1回開催)
- (3) 評議員会 (評議員 19人 年3回程度開催)

2 学園組織図 別紙1のとおり

3 役員・評議員・教職員

- (1) 役員
 - ① 理事 9人 ② 監事 2人
- (2) 評議員 19人
- (3) 教職員数
 - ① 教育職員 59人 ② 事務職員 56人

【教職員構成】(令和5年4月1日予定)

(単位:人)

教育職員		事務職員				非常勤講師
学長	1	局長	1	寮生指導員	2	41
教授	31	次長	2	嘱託員	0	
准教授	16	課長・主幹	9	教務補佐員	9	
講師	10	課長補佐・専門員	4			
助教	1	係長	9			
		主査	9	計 ②	56	
計 ①	59	係員	11	総計①+②	115	

4 設置する学校・学部・学科等

理事長 雨宮 忠

- (1) 東京女子体育大学
 - 体育学部・体育学科
 - 学長 金子 一秀
- (2) 東京女子体育短期大学
 - 保健体育学科
 - こどもスポーツ教育学科
 - 学長 金子 一秀

【第三者評価機関別認証評価】

大学	平成20年3月19日認証	財団法人 日本高等教育評価機構
	平成27年3月10日認証	公益財団法人日本高等教育評価機構
	令和4年3月16日認証	公益財団法人日本高等教育評価機構
短期大学	平成19年3月22日認証	財団法人 短期大学基準協会
	平成26年3月13日認証	一般財団法人 短期大学基準協会
	令和3年3月12日認証	一般財団法人 短期大学基準協会

5 学部・学科の入学定員

【令和5年度学部学科の入学定員及び収容定員】

(単位：人)

		大 学 体育学部 体育学科	短 期 大 学			総 計
			保健体育 学科	こども スポーツ 教育学科	短大計	
入学 定員	入 学 定 員	340	40	80	120	460
	3年次編入学定員	40				40
収 容 定 員		1,440	80	160	240	1,680

6 教育研究上の基本となる組織

大学等	学部	学科	コース
東京女子体育大学	体育学部	体育学科	教職体育学専攻コース スポーツ健康学専攻コース コーチング学専攻コース スポーツマネジメント学専攻コース
東京女子体育短期大学	保健体育学科		
	こどもスポーツ教育学科		幼保コース 幼小コース

7 授業料等学納金

(単位：円)

	項 目	大 学	短 期 大 学	
		体育学科	保健体育学科	こどもスポーツ教育 学科
入学時 納入	入 学 金	300,000	230,000	230,000
	授 業 料(前期)	380,000	350,000	370,000
	施設設備費(前期)	150,000	140,000	140,000
	実験実習料	30,000	25,000	30,000
	計	860,000	745,000	770,000
後期 納入	授 業 料(後期)	380,000	350,000	370,000
	施設設備費(後期)	150,000	140,000	140,000
	実験実習料	30,000	25,000	30,000
	計	560,000	515,000	540,000
合 計 (年額)		1,420,000	1,260,000	1,310,000

8 教育施設

- (1) 校地等 52,523 m² (学生寮 2,729 m²及び借地 998 m²を除く)
- (2) 校舎等 42,490 m² (学生寮 5,111 m²を除く)
- (3) 使用目的別校舎等
- 1号館 管理棟
 - 2号館 講義室、マルチメディアルーム、ゼミ室、研究室、女子体育研究所、
教職ラーニングステーション
 - 3号館 藤村総合教育センター、地域交流センター、110周年記念藤村学園資料室
 - 4号館 講義室、武道場、メディアホール、ピアノレッスン室、多目的演習室、美術室、
造形室、ゼミ室、研究室、会議室、キャリアセンター、広報部
健康管理センター、リハビリテーション実習室、屋上多目的運動スペース
 - 5号館 第一体育館
 - 6号館 食堂、合宿室、保育演習室
 - 7号館 第二体育館、第三体育館
 - 8号館 合宿室
 - 9号館 第五体育館、プール
 - 10号館 第六体育館、図書館、多目的室
 - 11号館 第七体育館
 - 12号館 事務室、会議室
 - 13号館 藤村スポーツセンター

陸上競技場、ソフトボール場、テニスコート、正門前人工芝練習場、クラブハウス

(※学生寮(ふじ寮) 東京都国立市青柳)

II 大学・短期大学の運営

1 教授会の開催

- (1) 定例教授会（月1回、原則として第一水曜日開催）
- (2) 臨時教授会（年7回程度開催）
- (3) 部館所長会（必要に応じて随時開催）

2 部館所長

（令和5年4月1日）

部・館・室長名	氏名
教務部長	若山 章信 教授
学生部長	今丸 好一郎 教授
キャリアセンター所長	櫻田 淳也 教授
教職センター所長	吉村 潔 教授
入試部長	柳田 憲一 教授
広報部長	渡辺 博之 教授
図書館長	鶴澤 文子 教授
女子体育研究所長	大石 千歳 教授
健康管理センター所長	塚原 由佳 教授
地域交流センター所長	三好 優美子 教授

※ 任期は、令和5年4月1日から令和7年3月31日〔2年間〕

3 令和5年度 行事予定表 別紙2のとおり

4 学生数

【大学及び短期大学の在学生数（令和5年4月1日）】

（単位：人）

学年	大学 体育学部 体育学科	短期大学			総計
		保健体育学科	こどもスポーツ 教育学科	計	
1	263	12	36	48	311
2	317	16	43	59	376
3	312	/	/	/	312
4	343				343
計	1235	28	79	107	1342

Ⅲ 教育

1. 教務関係事業【教務部 教務課】

(1) 教育の質保証に関する充実

ア) 教学マネジメントの流れ（教育改革の計画的推進）

- ・藤村トヨの建学の精神に基づく女子体育指導者の養成及びアスリートの育成を図る。
- ・2025(令和 7)年度入学生から、新学習指導要領による教育を受けた学生を受け入れることから、カリキュラム改定に向け「教学マネジメントの流れ(中期計画添付資料)」に沿って進めていく。
- ・中期計画に示す「三つのポリシーの検証」、「教育の質保証に向けた全学的教育の仕組みの見直し」、「内部質保証システムの強化」「アセスメントプランの検証」を実施する。

イ) 三つのポリシーの検討

2025(令和 7)年度カリキュラム改定に向けて、現行ポリシーを検証し、課題・問題点等の洗い出し・改善を図り、新ポリシーを策定する。

(2) 授業運営の充実・効率化

ア) 当該年度のすべての開講科目のシラバスについて、関係委員会及びシラバス部会による記載内容のチェックを実施し、カリキュラムレベル(DP との関連)、授業レベル(授業計画・手法、評価方法等)の改善を図る。

イ) GPA 制度の活用、学修成果の把握及び学修支援の充実を図る。

ロ) 履修系統図またはナンバリングの整備及びカリキュラムマップの充実を図る。

エ) 遠隔授業を効果的に活用して、学生の自己学修を高める。(面接授業 14 回+遠隔授業 1 回)

ホ) 大規模授業等においてチューデントアシスタントを活用する。

カ) 出席管理システムを活用する。

(3) 履修指導の充実及び学習支援

ア) 学部、学科のカリキュラムを基に、学生一人ひとりの能力・適性、興味・関心に応えられる多様な教育メニューを整え、充実した学習ができるよう履修指導等を充実し、支援していく。

イ) 履修登録、成績管理、卒業認定単位の確認、休講・補講・教室変更等の情報など、学生情報に関する新教学システム「GAKUEN」・「UNIVERSAL PASSPORT」の活用の充実を図り、学修支援及び教学事務の利便性の向上を図る。

ロ) 遠隔授業にも対応できるよう学生用ノートパソコンの貸出を行い、学習学修支援の充実を図る。

(4) 学外実習・演習

前年度中止となった実習を含め、夏季学外実習 6 科目と冬季学外実習 5 科目において、感染症対策を十分に行い実施する。隔年で実施している海外英語・文化講座も開講する。

(5) 創作オペレッタ発表会

短期大学こどもスポーツ教育学科 2 年生の参加により、授業の中で創作劇の脚本、演出、音楽、出演などを学生自身で行う創作オペレッタ発表会を開催する。

(6) 導入教育の実施

ア) 「藤村トヨの教育」(講義・演習 1 単位) は、本学の沿革や建学の精神、藤村トヨの教育実践を学習し、本学の理念や目的について理解する。

イ) 「国語基礎講座」(講義 2 単位) は、日本語の構造を知り、文章(特に論文)の読み方、目的に応じた文章の書き方、音声による表現の仕方など体験的に学び、大学の学習及び研究に必要な

知識・技能を身に付ける。

(7) キャリア教育の実施

「キャリアデザイン」(講義・演習1単位)は、自己の能力や特質について十分に理解したうえで、進路の決定力を育む。多様な他者を理解した上で、協働する能力を育成する。

「キャリアトレーニング」(講義・演習1単位)は、自己の適性を模索し職業観を身につけ実際に興味ある分野・仕事を体験し就職意識の啓発を図り育成する。

(8) 授業の共通開講

科目特性により大学と短期大学保健体育学科の授業科目を共通開講し、授業が円滑に運営できるようにする。また、短期大学保健体育学科とこどもスポーツ教育学科の教養科目等共通して求められる知識・能力等の獲得を目的とする授業科目を、学科を越えて開講する。

関連する科目を体系的に学び、他学科の学生と交流する機会とする。

(9) 履修形態の多様化

ア) 科目等履修制度は、大学と短期大学で受入れ、免許資格等に必要な単位を取得できるようにする。

イ) 他学科履修制度は、短期大学こどもスポーツ教育学科から保健体育学科の授業を履修して、資格科目や体育専門科目の履修を推進する。

ウ) 単位互換は、大学と短期大学の授業科目を相互に履修できる制度であり、学修機会を広げる。

(10) 聴覚に障がいのある学生への情報保障支援

地域ボランティアのノートテーカー・パソコンテーカーを希望する授業に配置する。

(11) 高大連携の実施

高大連携協定に基づき、希望する高校生に大学の授業に参加する特別科目等履修生や体験学習を実施し、大学教員による高校への出張講義も実施する。

2. 教職関係事業【教職センター 教職課】

(1) 教育実習の実施

大学体育学部体育学科4年 276人

短期大学保健体育学科2年 18人

短期大学こどもスポーツ教育学科2年(小学校) 53人(科目等履修生を含む)

短期大学こどもスポーツ教育学科2年(幼稚園Ⅱ) 38人(科目等履修生を含む)

(2) 介護等体験の実施

大学体育学部体育学科2年・3年・4年 470人

短期大学保健体育学科1年 20人

短期大学こどもスポーツ教育学科1年 20人

(3) 保育実習の実施

短期大学こどもスポーツ教育学科2年(保育実習Ⅱ・Ⅲ) 38人

短期大学こどもスポーツ教育学科1年(保育実習Ⅰ) 55人

(4) 教師力養成講座

ア) 観察実習

教員志望者に対して、将来、教員として職責を全うしていくために必要な資質と能力の基盤を形成していくことを目標に、公立小学校等において観察実習を行い、教員としての力量を高める基礎づくりを行う。

イ) 教養対策講座

小学校全科及び中学・高等学校保健体育の教員を目指す学生に対して、教師として必要な資質と能力を形成、実践的な指導力を養成するため講座を開講する。また、教育職員採用試験に向けた基礎学力の向上を図り、教員を目指す学生への有効な支援を実施する。

ロ) 教員採用試験対策講座

教員採用試験合格者を増やす対策を推進するため、一般教養・教職教養・専門教養の各対策講座を開講、2次試験対策としては、論作文・面接指導・模擬授業対策の個別対応と集団面接・討論の対策など、教員採用試験に向けた有効な学生の支援を実施する。

IV 学生支援

1. 学生支援関係事業【学生部 学生課】

(1) フレッシュウィークの実施

新入生が大学での学修の魅力を感じ、新鮮な印象と期待感を持って学園生活をスタートできるよう、授業ガイダンス、キャリア支援、クラブ活動、学友会活動など学園生活に必要な事項のオリエンテーションを年度当初に集中的に行う。

(2) クラブ活動の充実

ア) 国際試合等海外遠征支援

イ) クラブ活動支援

運営指導必要経費（学外指導者連絡費等補助費の支給） 対象クラブ：36クラブ

ウ) 特別学外指導者の配置 対象クラブ：4クラブ

エ) 学外指導者の配置 対象クラブ：15クラブ

(3) 藤園祭（学園祭）の実施

様々なイベント等を学友会藤園祭実行委員会が企画・運営し、11月3日（文化の日）4日の2日間で行う。

(4) 本学独自の奨学生制度（奨学金の給付等）：大学・短大共通

ア) 藤村学園育英奨学生

予算額：1,100万円

イ) スポーツ奨学生

予算額：400万円

ウ) 藤村トヨ奨励金

予算額：90万円

エ) 国際競技会等に対する激励金（激励金、報奨金の支給）

予算額：250万円

カ) スポーツ特別奨学生の運用

Aランク 入学初年度費用相当額（入学金、授業料、施設設備費、実験実習費）及び次年度の授業料（前後期）相当額を給付する。なお、次年度の免除については別に定める基準により評価し決定する。

Bランク 入学初年度費用相当額（入学金、施設設備費）を給付する。

Cランク 入学初年度費用相当額（入学金）を給付する。

カ) スカラシップ制度（新入生）の運用

建学の精神に基づき、本学の教育理念を理解し、一般選抜、共通テスト利用選抜において優秀な成績を修めた学生に対し、奨学金として入学初年度（授業料半額程度）を給付し、入学後の学修意欲を高めることを目的とする。

(5) 日本学生支援機構奨学金（令和4年12月1日現在の実績）

給付奨学金（授業料減免） 大学 166人 短期大学 18人

第一種奨学金（無利子） 大学 272人 短期大学 19人

第二種奨学金（有利子） 大学 424人 短期大学 28人

※参考：うち大学 100人、短期大学 4人が両方併用

(6) 学生相談

ア) 学生相談箱の設置

イ) 担当教員による相談、臨床心理士等によるカウンセリング

(7) オフィスアワーの実施

学生のより豊かな学習活動を支援するため、全教員が曜日と時間を設定し、学生の相談に応じ、きめ細かい支援をする。

(8) 学生寮「ふじ寮」の運営

寮生数(想定) 新入生 108 人、残寮生 82 人 収容定員 252 人

2. キャリア支援・就職対策関係事業【キャリアセンター キャリア支援課】

(1) ガイダンス・イベントの実施

ア) 就職オリエンテーション

学年別にテーマを変え実施し、就職活動への意識を早めに高めていく。

イ) 就職ガイダンス

就職活動スケジュールや注意事項・インターンシップの重要性等を説明する。

ウ) 資格取得ガイダンス

就職活動に役立つ「資格」をテーマ(内容)別に説明する。

エ) 学内企業説明会

業界・業種ごと、実施時期や内容を変え、学生が参加しやすい説明会を実施する。

(2) キャリア支援

ア) 印刷物の作成

就職ガイド『「なりたい!」の実現を目指して』大学3年、短期大学1年へ配付する。

イ) キャリアカウンセリング

キャリアコンサルタントを配置し、進路相談、応募書類添削、面接等、アドバイスをを行う。また、卒業生に対する就職相談も積極的に応じる。

ウ) キャリア支援関係情報の収集・提供

就職先拡充を図るため、企業アンケート等を基に、本学学生に対する企業のニーズを把握し進路指導に活かす。また、インターンシップ先企業も増やす。

エ) 個別面談の実施

進路希望先を確認し就職活動が適切に行えるよう指導アドバイスをを行う。学年別個別面談を実施する。

(3) 就職活動支援

ア) 就職対策講座

大学・短期大学それぞれの特色に合った対策指導を実施する。

・就職対策講座

・公務員対策講座

・SPI対策講座

イ) 就職活動学生報告会

映像配信も含め実施回数を増やし、就職活動に向けた情報提供を強化する。

(4) 各種資格取得支援

ア) 実習・講座・講習会

各講座・講習会を開講し、学生のニーズに合わせて支援する。

- ・社会体育施設実習
- ・健康運動指導士認定試験対策講座
- ・健康運動実践指導者認定試験対策講座
- ・共通科目 I 集中講座
- ・日本赤十字社救急法講習会
- ・日本赤十字社水上安全法講習会
- ・秘書検定（2級）対策講座

(5) 対外活動

対外的な活動によって情報を収集し、新たな就職先・インターンシップ先を開拓する。

ア) 就職推進懇談会 等

- ・体育施設関係、一般企業関係、幼稚園、保育所、施設関係 懇談会

イ) 訪問活動

- ・体育施設、一般企業、幼稚園、保育所、施設等

3. 学生・教職員の健康管理関係事業【健康管理センター】

医療法に基づく認可を受けた「診療所」として、治療処置の初期対応や迅速な措置を行うことにより学生・教職員の健康管理の充実を図る。

学生の健康診断に基づき学生一人ひとりの健康状況を管理し、健康の保持増進に努める。

また、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の感染症は、学生をはじめ学園に関わる全ての者に注意喚起をするとともに、予防対策と発症時の対応を適宜・適切に行う。

- (1) 定期健康診断と事後措置（学生）
- (2) 定期健康診断と事後措置（教職員）
- (3) 医事相談（内科、整形外科、心療内科 他全般）
- (4) 精神衛生相談（精神科医の診療・公認心理師による心理相談）
- (5) 応急処置
- (6) 産業医保健指導
- (7) 体組成測定・血圧測定・アルコールパッチテスト
- (8) 健康診断証明書発行
- (9) 特別検診（入試等）
- (10) 野外活動実習帯同
- (11) イベント救護対応

4. 学生意識調査の実施【企画調査室】【中期計画：3-2-(1)(2)(3)】

学生支援や修学指導等の検討に資するため、「入学理由・学生生活・課外活動・学修・悩み・健康」の5つの項目を立て「学生調査アンケート」を実施する。アンケート結果は学生の学生生活の実態や学内の施設・設備の学生の利用状況等を把握し、学生の多様なニーズにこたえるための基礎資料として活用する。また、アンケートの集計結果、分析結果は学内外に公表する。

V 研究

1. 教育・研究支援関係事業【女子体育研究所】

女子の体育・スポーツ・レクリエーション等とこれに関連する研究調査を行い、その向上、発展に資することを目的とし、その成果を教職員・学生のみならず広く社会へ公開し、社会の発展に寄与する。

(1) 教員の個人研究・共同研究に対する補助

個人研究・奨励個人研究 共同研究（新規 2 件・継続 2 件予定）

学長奨励研究（新規 2 件・継続 1 件予定）

女子体育研究所共同研究（新規 1 件、継続 0 件予定）

(2) 研究フォーラムの開催

第 18 回研究フォーラムを開催し、個人研究・奨励個人研究、共同研究、女子体育研究所共同研究、学長奨励研究の成果を本学教員と学生に発表する。

(3) 「紀要」、「所報」の発行

「紀要」は教員の研究成果を論文として発表する機会を設けるため毎年発行し、全国の大学や国立国会図書館・関係出版社等にも配布するとともに東京女子体育大学・東京女子体育短期大学学術機関リポジトリで発表する（第 59 号）。

「所報」は研究所の研究事業及び共同研究を研究報告として発表する場として毎年発行し、全国の大学等に配布すると同時に東京女子体育大学・東京女子体育短期大学学術機関リポジトリで発表する（第 18 号）。

(4) 研究者情報の開示（教員の研究業績の開示）

ア) 本学の研究資源として、教員の持っている知的資源、資質・能力及び本学独自の研究指導成果を広く公表する機会とする。

イ) 教員の研究領域や分野を相互に理解し、研究活動を充実させ、研究集団としての価値を高める機会とする。

ウ) ホームページ（教員情報）、research map(教員名又は大学名で検索)及び J-GLOBAL (research map の教員から検索)において、本学教員の研究業績の開示を行っている。

(5) 研究倫理研修会、及び研究倫理審査の実施

教員及び学生の研究実施に当たり、教職員を対象とした研究倫理に関する研修会、及び研究倫理審査を実施する。

(6) 学生に対する体力テストの実施と測定結果の活用

被検者は大学・短期大学各 1・2 年生、及び希望する競技系クラブ所属 3・4 年生とし、検者は大学 3・4 年生が行う。測定結果は、学生個人に返却するとともに集計値を本学ホームページに掲載する。

VI 社会貢献・社会連携

1. 地域との交流関係事業【地域交流センター】

地域社会からの要請に応じて大学の教員や学生を派遣し、地域の教育、文化、スポーツ等の活動を支援するとともに、大学主催事業である公開講座、定期レッスン、ジュニア・ユースクラブの運営・実施により、地域の発展に寄与する。

(1) 公開講座の開催

ア) 公開講座（26 講座）

地域の方が自由に参加することのできる講座を無料と有料（実費徴収）で提供する。

幼児講座	5 回開講	各 20～30 人
小学生講座	8 回開講	各 20～50 人
中学・高校生講座	4 回開講	各 30～50 人
共通講座（小学生～成人）	8 回開催	各 20～50 人
社会人講座	1 回開講	20 人

イ) 公開講座運営目標

幼児から高齢者までの幅広い年齢層を対象に、年間 5 区分・20 講座以上を開講するものとする。

実施内容が参加者に理解されているかアンケート集計し、各講座定員に対して参加者数 60%以上を目指し参加満足度は、75%を目指し講師からの意見をすり合わせ公開講座の充実を図る。

(2) 定期レッスン

ア) 定期レッスンは、専門的内容の定期講座を有料で提供する。

新体操 7 回開講 各 50 人（小学生～高校生対象）

陸上競技 5 回開催 各 40 名（小学生 ・低学年クラス ・高学年クラス）

イ) 定期レッスン運営目標

定期レッスンは、年間 5 講座以上を開講するものとする。

実施内容が参加者に理解されているかアンケート集計し、各講座定員に対して参加者数 50%以上を目指し参加満足度は、75%を目指し講師からの意見をすり合わせ公開講座の充実を図る。

(3) ジュニア・ユースクラブの開催

ジュニア・ユースクラブは、会員制、通年で継続的に事業運営する。

ア) 新体操クラブ

会員の競技力強化・育成を図るため、外国人特別講師の招聘を行い、国内競技会および強化合宿東京都新体操ジュニアの育成・強化練習会にも積極的に参加する。

一般コース	キッズ	3 クラス	毎週 1 回	各 15 人
	ジュニア	6 クラス	毎週 1 回	各 20 人
	ユース	1 クラス	毎週 1 回	15 人
育成コース		4 クラス	毎週 1～2 回	各 8～15 人
選手コース		3 クラス	毎週 4～5 回	各 8～15 人

イ) ヒップホップクラブ

ヒップホップ	1 クラス	毎週 1 回	15 人
--------	-------	--------	------

り) サッカークラブ

サッカー	2クラス	毎週1回 各20人
------	------	-----------

(4) ボランティア講座の開催 (学生対象/5テーマ13講座/講義・演習)

学生にボランティアの意義、理論を学ばせ、演習・実習を通してボランティア実践の方法を学ばせる。

(5) ボランティア活動

教育、文化、スポーツ等に関する地域社会からの要請に基づき、教員、学生を派遣し、社会貢献の一環とする。

2. 地域との交流関係事業【総務課】

(1) 地方自治体との包括連携事業

国立市、立川市の2市と各包括連携協定に基づいて協議会を開催し、年度報告及び実施計画の確認を行い、事業運営の強化に向けて協議する。また、地域連携のさらなる展開、拡充を図るために多摩地域の他の地方自治体との連携を模索する。

VII 施設設備・キャンパス計画

1. 施設の整備【管財課】

教育環境の整備充実として、大学構内の施設・設備について次のような施策を実施し、安全・安心に係る事項の推進や快適空間の確保等教育環境の整備充実を図っていく。

(1) 9号館外壁改修工事

外壁が経年劣化により老朽化しており、安全対策のため改修工事を年次計画（3/4年目）にて実施する。

(2) 1号館吸収式冷温水発生機改修工事

吸収式冷温水機を設置してから14年が経過しており、保全整備を年次計画（2/4年目）にて実施する。

(3) 外部手摺塗装改修工事

構内を区画している外部手摺の表面塗装が経年劣化により腐食が目立つため、ケレン・塗装の改修工事を年次計画（1/2年目）にて実施する。

(4) 電話交換設備更新工事

1号館2階の電話交換設備が設置から21年が経過しており、設備を更新する。

(5) 9号館照明器具LED化工事

蛍光灯生産終了及び省電力化のため、9号館照明器具のLED化を実施する。

(6) 吸収式冷温水機配管改修工事

1号館から3号館へ渡る地下埋設の吸収式冷温水機配管の保温材が経年劣化により剥がれているため、改修工事を実施する。

(7) 1号館1階空調設備設置工事

1号館1階事務室の空調設備をガス空調から天井埋込型の電気エアコンへ変更する。

(8) 3号館音響機器入替工事

3号館音響機器が設置から29年が経過しており、設備を更新する。

(9) エッジスイッチ入替工事

各棟の既設のエッジスイッチの入替工事（5年毎に実施）を行う。

2. キャンパス整備計画【管財課】

(1) キャンパス整備計画の検討

将来的な5・6・7・8号館の建替え等を視野に入れ、整備計画を検討する。

1. 短期大学の改組・改編

2023(令和 5)年度より、児童教育学科を「こどもスポーツ教育学科」に名称変更し、体育短期大学としての特性を活かした個性的なカリキュラムを用意していることがイメージできるようにするとともに、社会的需要の高い保育士の養成を拡充し、待機児童などの社会問題解決に貢献をしていく。また、保健体育学科については、2023(令和 5)年度の入学生を学年最後として迎え、教育、就職、進学支援、学生生活サポート等を教職員が一丸となって継続し、今後の学科の発展的統合を視野に、新たな時代に即した体育短期大学としてさらなる発展を目指す。

2. 教育改革推進関係事業

(1) 内部質保証システムの強化【企画調査室】【中期計画:3-1-(4)】

ア) 自己点検評価

- ・自己点検・評価規程に沿って、自己点検・評価活動の推進を図り、建学の精神、理念・目的の実現に向けて、恒常かつ継続的に本学の教育の質保証及び向上に取り組んでいく。2023(令和 5)年度は、認証評価の結果を踏まえ 2022(令和 4)年度の点検を行い、評価結果を学外に公表する。
- ・授業評価アンケートの結果を授業担当教員に配付し、各教員が調査結果を分析し、改善策等を「授業改善報告書」としてまとめ、学内に公開する。
また、教員の教育意識と指導技術の向上につながるように、FD委員会において、授業改善報告書から改善すべき問題点を明らかにし、改善策について検討する。さらに課題等はFD委員会から教育の質保証委員会へ報告し、全学を挙げて更なる教育の質向上に向けた取組を進めていく
- ・2022(令和 4)年度に本学が行う自己点検・評価の結果について、その客観性及び妥当性を担保すること、大学の諸活動全般の改善・改革に資する実質的な外部評価を実施することを目的に、外部有識者による外部評価を実施する。

イ) 学生による授業評価の実施

教員の教育意識や指導技術を高め、学生の視点に立った授業内容の改善に資するため、大学（体育学部体育学科）、短期大学（保健体育学科、こどもスポーツ教育学科）において、全科目、全クラスを対象に学生へのアンケート調査を実施する。

- ・実施時期 前期授業 6月下旬～7月 後期授業 11月下旬～2月中旬
学外・集中授業 8月～9月、12月～3月上旬
- ・科目数 約 370 科目 授業数 約 700 クラス 履修者数 延べ 4 万 4 千人

ロ) IR の推進

本学における教育・研究に関する学内の情報の収集・分析、学生の意識、学習成果等に関する調査の等実施及び分析を行い、分析結果等を内部質保証における体制の中心となる教育の質保証委員会に提供する。教育の質保証委員会は分析結果等を活用し、教学方針の形成の支援等、その他、本学の教育・研究活動をはじめとする大学の諸活動の活性化に繋がる事業の企画・立案を行う。

(2) 学園研修の推進【総務課】

全教職員を対象として、教育・研究支援や管理運営等の能力の向上を図るため、組織的に取り組んで研修活動を推進する。

(3) F D活動の推進【総務課】

F D委員会を中心に、F D研修の実施、学生による授業評価の実施とその活用策等を検討し、授業内容等の改善・充実を図るための組織的な活動を推進する。

(4) ティーチングポートフォリオの作成【企画調査室】

年度ごとのシラバス、授業評価結果等を教員ごとに管理・保管し、継続的な教育改善に資する。2025(令和7)年度の新カリキュラム改定に向けて、デジタル化の検討を開始する。

3. 事務局関係事業

(1) 寄付金募集【経理・募金担当】

教育研究に要する経費、奨学金支給を含む多様な学生活動への支援経費や校舎その他付属設備の取得・改修費に係る恒常的な「教育振興寄付金」のための募金活動を行う。

(2) 事務職員研修（SD研修）【総務課】

SD委員会を中心に、事務職員の資質向上・能力開発のために、学内研修会等を企画・立案し実施する。

(3) 学園報の発行【総務課】

学園の基本情報を学内・学外に広く提供・周知するため「学校法人藤村学園 学園報」を継続して定期的に発行する。

(4) 国際競技会等の出場者への報奨金【総務課】

在学生在が日本代表として高次の国際競技会に出場した時に、大会成績に応じて報奨金を授与する。

(5) アセスメント・ポリシー（学習成果と教育効果に関する測定・評価）

【企画調査室】【中期計画：3-1-(5)】

「東京女子体育大学アセスメント・ポリシー」に基づき、学習成果の測定・評価指標（学位授与数、就職率・進学率、免許・資格取得数、授業評価アンケート、学生調査アンケート、学習成果測定アンケート(卒業時アンケートを含む)、就職先インタビュー等）から、達成すべき資質・能力の修得状況を点検・評価する。三つのポリシーを踏まえた学習成果の点検・評価の充実を図るため、学習成果の測定・評価指標の経年分析と各指標を相互に関連させ複数指標の分析等、分析の最適化を行う。

(6) 新型コロナウイルス感染症対応【総務課】

危機管理対策本部の主導により、学生及び学園関係者の安全を考慮し、状況に応じた授業形態、大学行事や学生クラブ活動等の実施方法の検証を行い、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めていく。

(7) 東京女子体育大学×スポーツサポートプロジェクト【総務課】

2014(平成26)年度から2021(令和3)年度まで活動した東京2020オリンピック・パラリンピックプロジェクトでの実績を継承し、新たなかたちで、スポーツの発展のために「スポーツをする、みる、支える」人たちをサポートし、スポーツを通して、心身ともに豊かに過ごすための情報を発信していく。

(8) 内部監査【監査室】

ア) 内部監査計画に基づき、学園が適正な状態にあるかどうかを確認するために、内部統制の考え方をを用いて内部監査を実施する。

イ) 監査室会議、監事・監査室連絡会、及び三様監査連絡会を開催する。

ロ) 監事監査に係る業務補助を行う。

(10) ペーパーレス化の推進【総務課】

社会全体のデジタル化が進展している状況を踏まえ、印刷や用紙購入のコストの削減、業務効率の向上を図るとともに、環境保全への貢献といった役割を果たすことを目的として、主要な会議においてペーパーレス化を実施する。

4. 学生募集・入学試験関係事業【入試課・広報課】

(1) 学生募集活動

ア) 動画制作、SNS での情報発信

イ) 広報の効果検証

ロ) 卒業生とのつながりの強化

エ) オープンキャンパス（5回）の実施

大学ミニオープンキャンパスの実施（3回）

短期大学ミニオープンキャンパスの実施（7回）

授業見学会の実施（1～3日を予定）

オ) 高校訪問

カ) 進学説明会への参加（延べ80回）（入試課）

キ) スポーツ推薦の学生募集

ク) 出張講義

ケ) 高大合同練習会への協賛

(2) 広報活動

ア) 高校生・学校関係者等対象「大学案内」の発行（A4版84ページ 19,000部）

イ) 広報誌の発行

「ヘッドライン」	年1回 3,500部（保護者・在学生・高校向け）
「ラブスポ」	年1回 15,000部（学外・保護者・ 在学生・高校生向け）

ロ) ホームページによる広報

大学案内、入試案内、オープンキャンパス開催案内、資料請求等

エ) インターネット（パソコン・スマートフォン）を利用した広報

オ) 受験雑誌、新聞、フリーペーパー、競技大会等プログラムなどへの広告による広報

カ) 指定校ポスターの制作・掲示・配付

キ) 交通広告による広報

(3) 入学試験の実施

ア) 総合型選抜Ⅰ期～Ⅲ期（一般、特別選抜）

イ) 学校推薦型選抜（公募、指定校、スポーツ）

ロ) 一般選抜

エ) 共通テスト利用選抜Ⅰ期・Ⅱ期

オ) 大学3年次編入学・転入学選抜Ⅰ期・Ⅱ期

5. 図書館の運営関係事業【図書館】

附属図書館は大学における教育・研究活動を支える重要な基盤機関であり、また総合的な教養の場でもある。この目的を達成するために学生の教育・学修、教員の研究活動を支援し、図書をはじめとする雑誌、新聞、映像、電子資料、学園史資料の収集・提供・保存を行う。

(1) 図書等資料の収集・整理・保存（蔵書冊数予定 194,000 冊）

図書受入予定	約 3,000 冊
雑誌受入予定	約 300 種
新聞受入予定	約 13 種
映像資料受入予定	約 100 タイトル
データベース予定	約 6 種

(2) 図書貸出予定冊数 年間 約 3,000 冊

(3) レファレンス・サービス

(4) 学外機関との相互協力

ア) 図書館間の資料の相互補完

イ) 国立情報学研究所の目録所在サービスへの図書・雑誌所蔵登録

(5) 開館時間の延長

学生の学修時間の確保をめざす為、閉館を平日の通常 17 時を 19 時まで、土曜日の通常 13 時を 14 時まで遅らせ、開館時間を延長し授業終了後にも図書館を利用できるようにする。試験期間、卒業研究提出期間には平日は 20 時、土曜日は 17 時まで開館時間を延長する。

(6) 広報活動

ア) 図書館広報誌 「LiVRE(リーヴル)」 年 2 回発行

イ) ホームページ（図書館ページ）の更新

(7) 図書館事業予定

ア) フレッシュウィーク（年 1 回）

図書館の紹介・利用方法の説明を行い、新入生の学修支援を図る。

イ) ライブラリー・ツアー（春秋 2 回）

図書館の資料の場所を理解させ、知り、検索方法や利用法を身に付けさせることで、学生の調査・研究の向上を図る。

ウ) 公開講座「絵本から広がる子育て」*地域交流センター共催（年 1 回）

絵本を入口に地域の子どもたちに読書の楽しさを味あわせる。

エ) 藤園祭参加行事「図書館は楽しいー子どもと一緒にー」

絵本の読み聞かせ・紙芝居・クラフトワーク他、こどもスポーツ教育学科の学生と子ども達との交流を図り、地域社会への貢献を行う。

オ) 図書館ワークショップ（年 2 回）

テーマを設定、学生の参加希望を募り、図書館を活用し、学生自身が楽しく学べる機会を設ける。

カ) 資料保存（通年）

古書・和綴じ本、貴重書などに対し、学術的な評価を行い、適切な方法で保存を図る。

キ) 授業関連資料の整備（年 2 回）

教科書及び授業関連資料を整備・充実させ、学生の勉学の利便性を高める。

ク) SDG s 関連資料の整備（通年）

SDGs の達成に向けて、SDG s 関連資料の収集を行い、配架を工夫して、本学教職員・学生の学びを支援する。

ケ) 集中蔵書点検（年 1 回）

東京女子体育大学・短期大学附属図書館運営規程第 14 条に基づき、蔵書点検を行う。

IX 予算概要

1. 予算編成の概要

令和5年度予算は、予算編成方針に基づき部署別の事業計画及び予算に係るヒアリングを実施し、理事査定、予算委員会を経て編成している。令和5年2月15日(水)の理事会において事前審議の後、2月22日(水)の評議員会へ諮問し、3月15日(水)の理事会で承認された。

本学園を取り巻く環境は、18歳人口の本格的な減少を迎え、大学淘汰が本格化する時代が予測されるなど大変厳しい環境下にあります。スポーツ及び健康に関する学部・学科の相次ぐ開設により体育系大学の入学者獲得競争が激化してきたことによる入学者の減少、女性の高学歴化に伴う4年制大学への志向が強まってきたこととの関係で短期大学への入学者減少、また新型コロナウイルス感染の影響は経済や社会生活全般におよび、教育の現場もウィズコロナ時代に対応した教育の質保証に向けた抜本的な改革が求められています。

こうした状況の中で、財務基盤の安定を確保するには大変厳しい状況と言えます。しかし、そういった状況の中でも、学園の運営を維持するためには、中期財務計画に基づき、より一層学生募集に力を入れ、確実に入学定員充足率向上など収入の安定化に向けて取り組んでいかなければなりません。また一方で、学生、教員の教育研究環境の維持充実、学生の課外活動の環境整備及び学生の奨学金関係など教育研究の水準の維持向上に取り組んでいきます。

収入については、学生総数は前年度比150人の減少が見込まれ、収入全体の74%を占める学納金収入が前年度実績を大きく下回る大変厳しい予算編成となっています。

- (1) 学生数：大学 1,220名（前年比117名減）、短期大学 99名（前年比33名減）
合計 1,319名（前年比150名減）

- (2) 教育研究経費・管理経費：教育内容等の改善・充実費、学生支援に係る奨学金（第3号基本金の増額を行い財源を確保）、国の授業料等減免による修学支援費（補助金対象）、学生生活・クラブ活動費、教職・キャリア支援費、図書館運営費、地域交流事業費、広報活動費、各施設に係る保守管理費及び減価償却費等を予算に計上しています。

- (3) 奨学金：学生支援として経済支援、学業やスポーツ優秀者の支援、スカラシップ及び国際大会参加者への激励や報奨等の奨学費（第3号基本金の増額を行い財源を確保）、国の授業料等減免による修学支援費（補助金対象）

- (4) キャンパス計画・施設設備

- ① 1・9・10号館放送設備更新工事
- ② 火災報知器更新
- ③ 1号館1階空調設備入替
- ④ その他施設設備関係の整備について緊急性を要するものから随時実施
- ⑤ 劣化度診断による建物長寿命化安全対策実施

II 資金収支予算について

表1の『資金収支予算書』は、当該会計年度における学校法人全体の諸活動の計画に係る資金の収入と支出を科目別に明らかにし、支払資金の収入と支出の顛末を表すものです。

当該会計年度はもとより、前年度あるいは次年度以降の諸活動に関する資金を含め、計算上実際の入出金が当該期間内に生じなくても計上し、資金収入調整勘定（前受金・未収金）や資金支出調整勘定（前払

金・未払金)で相殺するようになっています。

【資金収支予算の主な科目説明】

(1) 収入科目の説明

- ① 学生生徒等納付金収入…授業料、入学金、施設設備資金、及び実験実習料の収入
- ② 手数料収入…入学検定料、試験料、及び証明書手数料等の収入
- ③ 寄付金収入…特別寄付金(使途指定)、一般寄付金、法人や個人からの寄付金収入
- ④ 補助金収入…国や地方公共団体からの補助金収入
- ⑤ 資産売却収入…施設・設備、有価証券等の売却による収入(有価証券の早期償還を含む)
- ⑥ 付随事業・収益事業収入…補助活動事業(寮舎収入)、公開講座、受託事業、及び収益事業からの繰入収入(活動区分収支では付随事業と収益事業収入は区分経理される)
- ⑦ 受取利息・配当金収入…特定資産の運用利息及び有価証券や預金の利息収入
- ⑧ 雑収入…私立大学退職金財団交付金、施設設備利用料、及び科学研究費間接経費収入等の収入
- ⑨ 前受金収入…翌年度入学者の学生生徒等納付金収入や入寮予定者の寮舎費収入
- ⑩ その他収入…特定資産の取崩収入及び前年度の未収入金等の収入

(2) 支出科目の説明

- ① 人件費支出…教員人件費、職員人件費、役員報酬、及び退職金の支出
- ② 教育研究経費支出…教育研究活動を使途目的とする費用支出
(消耗品費・光熱水費・旅費交通費・奨学費・修繕費・業務委託費など)
- ③ 管理経費支出…理事会・評議員会及び法人部門に係る業務のために要する費用、教職員の福利厚生費、学生募集経費、及び補助活動事業に要する費用支出
- ④ 施設関係支出…土地・建物・構築物の取得に要する支出及び付属する電気・給排水等の設備のための支出(建設仮勘定支出を含む)
- ⑤ 設備関係支出…教育研究用機器備品、管理用機器備品、及び図書などを取得するための支出
- ⑥ 資産運用支出…有価証券の購入及び特定資産へ繰入れるための支出

【令和5年度 資金収支予算】

収入の部は学生生徒等納付金収入、手数料収入、寄付金収入、補助金収入等の収入のほか前受金収入等を含め21億4,712万円。一方、支出の部は教職員の人件費、教育研究活動、及び法人の運営に必要な諸経費のほか施設設備関係支出を含め26億71万円。

結果、資金収支は4億5,359万円の支出超過。前年度繰越支払資金と合わせた翌年度繰越支払資金は1億5,828万円の見込みです。

II 事業活動収支予算について

表2の『事業活動収支予算書』は、当該会計年度における学校法人全体の諸活動の計画に係る収支の均衡状況とその内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

経常的な「教育活動収支」と「教育活動外収支」、臨時的な「特別収支」の3つの活動区分ごとに収支差額を表示しています。

【事業活動収支予算書固有の主な科目説明】

- ① 基本金組入額…学校法人がその諸活動の計画に基づき継続的に保持していくために必要な資産

の取得に充てた資金の組入額

第1号基本金…校地、校舎、備品、図書等の固定資産の取得価額

第2号基本金…将来固定資産を取得する目的で積立てた預金等の資産の額

第3号基本金…奨学費等の基金として保持し運用する金銭等の資産の額

第4号基本金…恒常的に保持すべき資産の額

② 減価償却額…減価償却資産の取得額から毎年経費として当該会計年度に配分している額

③ 徴収不能額等…金銭債権が徴収不能になった場合や徴収不能引当金を計上した場合の額

【令和5年度 事業活動収支予算】

教育活動収支は9億1,278万円の支出超過、教育活動外収支は1億5,953万円の収入超過となり、教育活動収支と教育活動外収支を合わせた経常収支差額は7億5,325万円の支出超過。

特別収支及び予備費を加えた基本金組入前当年度収支差額は7億6,215万円の支出超過。

基本金組入額は2億2,051万円を見込む。第3号基本金は、令和3～7年度にかけて毎年1億円組み入れ、30億円から35億円に増額します。

結果、令和5年度収支差額は9億8,266万円の支出超過。累積の翌年度繰越収支差額は54億812万円の支出超過の見込みです。

表1

資 金 収 支 予 算 書

令和 5年 4月 1日 から
令和 6年 3月31日 まで

(単位：千円)

収 入 の 部			
科 目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減
学生生徒等納付金収入	1,569,113	1,726,315	△ 157,202
手数料収入	21,009	20,000	1,009
寄付金収入	10,000	10,000	0
補助金収入	193,334	264,235	△ 70,901
国庫補助金収入	(193,184)	(264,085)	(△ 70,901)
地方公共団体補助金収入	(150)	(150)	(0)
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	123,200	123,363	△ 163
受取利息・配当金収入	164,526	165,682	△ 1,156
雑収入	36,204	52,699	△ 16,495
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	434,300	461,665	△ 27,365
その他の収入	87,695	1,142,344	△ 1,054,649
資金収入調整勘定	△ 492,260	△ 496,655	4,395
期末未収入金	(△ 30,595)	(△ 80,257)	(49,662)
前期末前受金	(△ 461,665)	(△ 416,398)	(△ 45,267)
前年度繰越支払資金	611,881	754,115	△ 142,234
収入の部合計	2,759,002	4,223,763	△ 1,464,761

(単位：千円)

支 出 の 部			
科 目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減
人件費支出	1,179,331	1,198,441	△ 19,110
教育研究経費支出	796,798	728,175	68,623
管理経費支出	223,087	220,131	2,956
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	105,413	145,419	△ 40,006
設備関係支出	81,651	148,392	△ 66,741
資産運用支出	205,500	1,158,000	△ 952,500
その他の支出	46,831	49,589	△ 2,758
[予備費]	[10,000]	[10,000]	[0]
資金支出調整勘定	△ 47,896	△ 46,265	△ 1,631
期末未払金	(△ 38,000)	(△ 38,000)	(0)
前期末前払金	(△ 9,896)	(△ 8,265)	(△ 1,631)
翌年度繰越支払資金	158,287	611,881	△ 453,594
支出の部合計	2,759,002	4,223,763	△ 1,464,761

表2

事業活動収支予算書

令和5年4月1日 から
令和6年3月31日 まで

(単位：千円)

教育活動収入の部	科目	令和5年度予算	令和4年度予算	増減
	学生生徒等納付金	1,569,113	1,726,315	△ 157,202
手数料	21,009	20,000	1,009	
寄付金	5,000	5,000	0	
経常費等補助金	193,334	229,365	△ 36,031	
国庫補助金	(193,184)	(229,215)	(△ 36,031)	
地方公共団体補助金	(150)	(150)	(0)	
付随事業収入	122,700	122,973	△ 273	
雑収入	36,204	52,699	△ 16,495	
教育活動収入 計	1,947,360	2,156,352	△ 208,992	
教育活動支出の部	科目	令和5年度予算	令和4年度予算	増減
	人件費	1,180,560	1,197,017	△ 16,457
	教育研究経費	1,362,765	1,277,123	85,642
	減価償却額	(565,967)	(548,948)	(17,019)
	管理経費	313,810	314,601	△ 791
	減価償却額	(90,723)	(94,470)	(△ 3,747)
	徴収不能額等	3,000	3,000	0
	教育活動支出 計	2,860,135	2,791,741	68,394
教育活動収支差額	△ 912,775	△ 635,389	△ 277,386	

(単位：千円)

教育活動外収入の部	科目	令和5年度予算	令和4年度予算	増減
	受取利息・配当金	163,026	165,682	△ 2,656
その他の教育活動外収入	500	390	110	
教育活動外収入 計	163,526	166,072	△ 2,546	
教育活動外支出の部	科目	令和5年度予算	令和4年度予算	増減
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	4,000	0	4,000
教育活動外支出 計	4,000	0	4,000	
教育活動外収支差額	159,526	166,072	△ 6,546	
経常収支差額	△ 753,249	△ 469,317	△ 283,932	

(単位：千円)

特別収入の部	科目	令和5年度予算	令和4年度予算	増減
	資産売却差額	0	15,967	△ 15,967
その他の特別収入	5,100	39,970	△ 34,870	
特別収入 計	5,100	55,937	△ 50,837	
特別支出の部	科目	令和5年度予算	令和4年度予算	増減
	資産処分差額	4,000	4,000	0
	その他の特別支出	0	0	0
特別支出 計	4,000	4,000	0	
特別収支差額	1,100	51,937	△ 50,837	

〔予備費〕

〔 10,000 〕

〔 10,000 〕

〔 0 〕

基本金組入前当年度収支差額	△ 762,149	△ 427,380	△ 334,769
基本金組入額合計	△ 220,509	△ 363,154	142,645
当年度収支差額	△ 982,658	△ 790,534	△ 192,124
前年度繰越収支差額	△ 4,425,464	△ 3,634,930	△ 790,534
翌年度繰越収支差額	△ 5,408,122	△ 4,425,464	△ 982,658

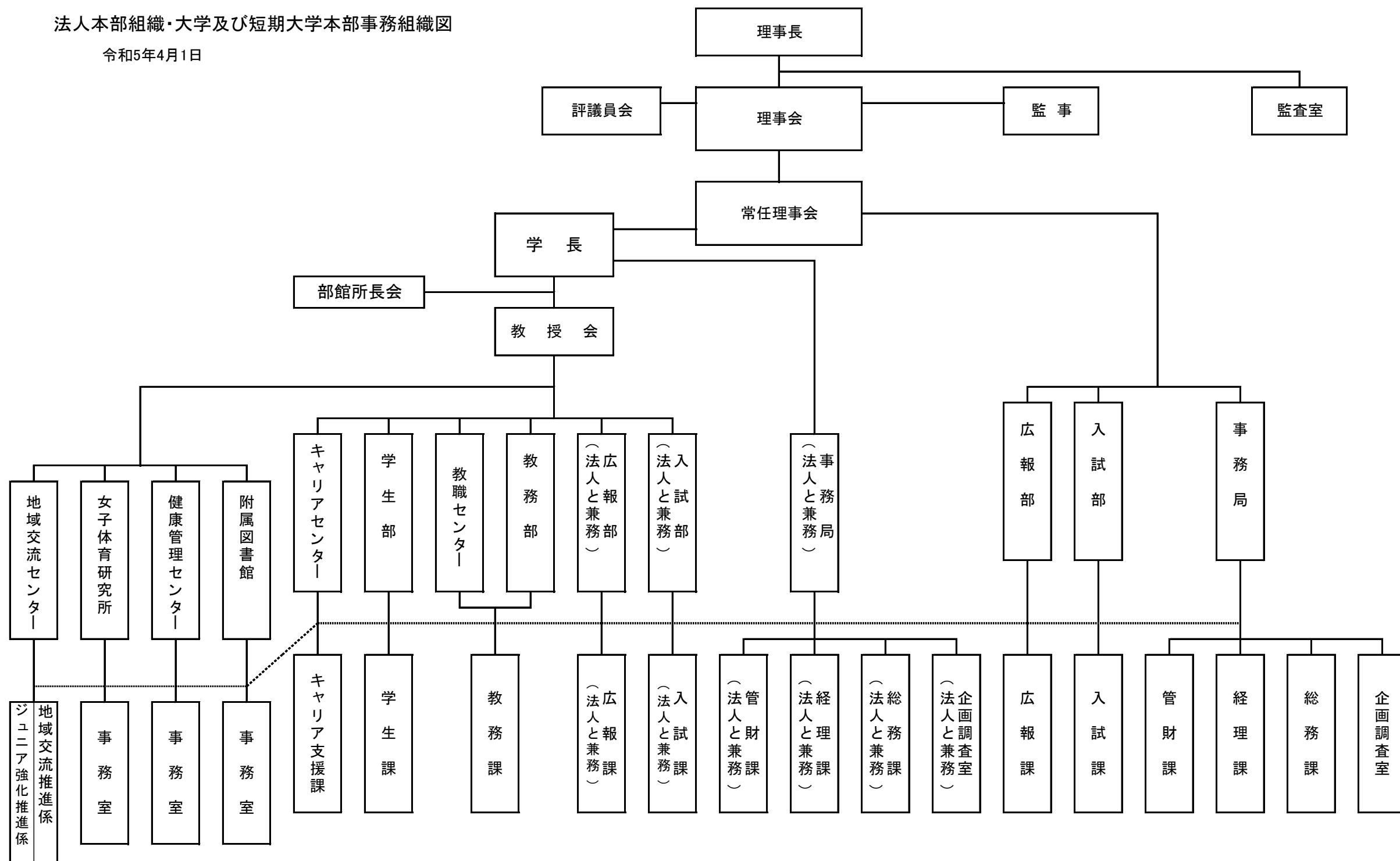
(参考)

(単位：千円)

事業活動収入 計	2,115,986	2,378,361	△ 262,375
事業活動支出 計	2,878,135	2,805,741	72,394

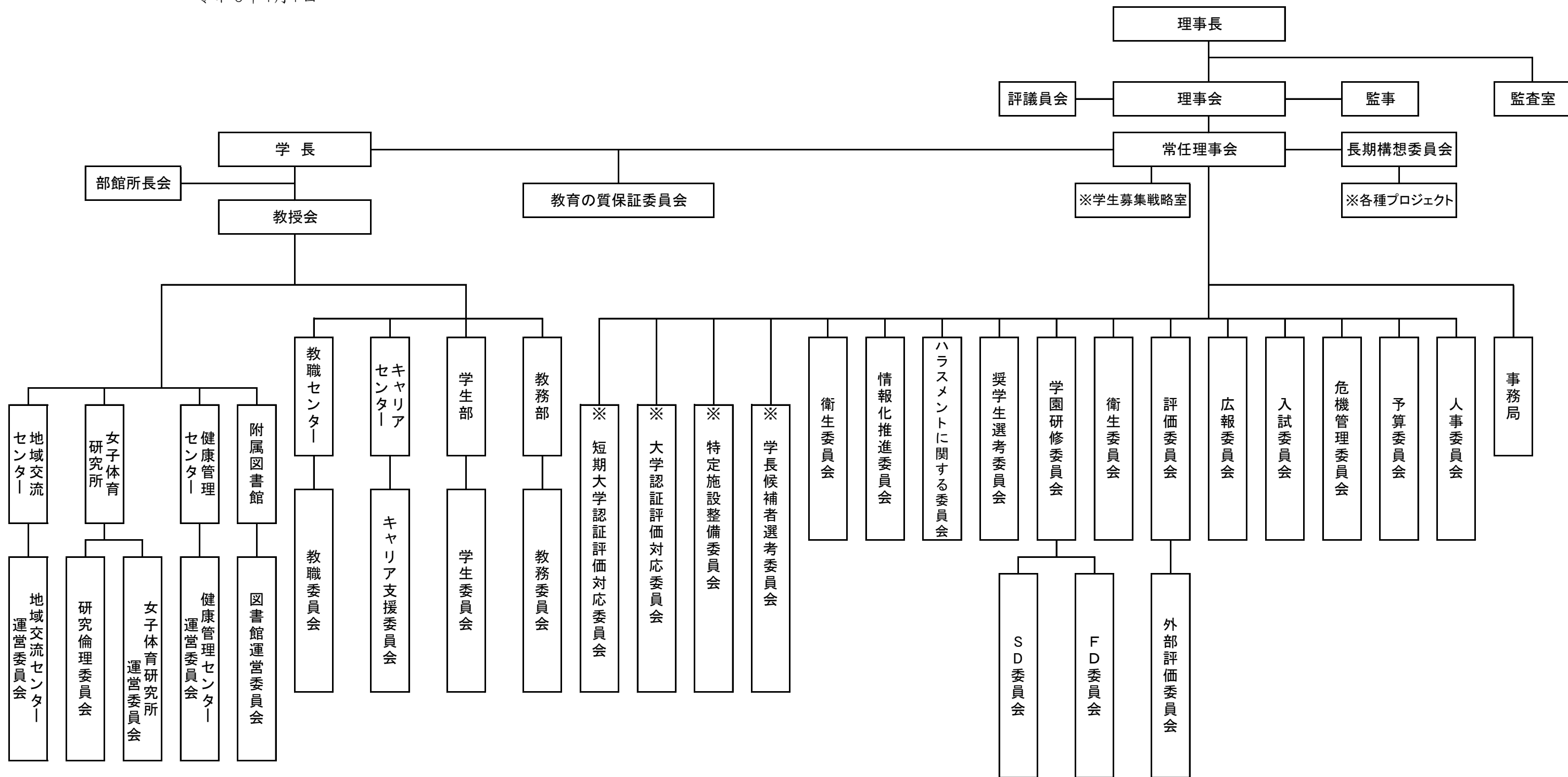
法人本部組織・大学及び短期大学本部事務組織図

令和5年4月1日



法人委員会及び教学委員会組織連関図

令和5年4月1日



※必要に応じて設置する委員会・プロジェクト

令和5年度 行事予定及び授業コマ数表

2023.4.1現在

4				5				6								
日	曜日	行事予定	大学:体育学部 短大:保健体育	短大: こどもスポーツ教育	日	曜日	行事予定	大学:体育学部 短大:保健体育	短大: こどもスポーツ教育	日	曜日	行事予定	大学:体育学部 短大:保健体育	短大: こどもスポーツ教育		
1	土	定例教授会			1	月		④	④	1	木		⑦	⑦		
2	日				2	火		④	④	2	金		⑧	⑧		
3	月	入学式 入寮式			3	水	憲法記念日			3	土		⑧	⑧		
4	火	フレッシュウィーク (学生健診)			4	木	みどりの日			4	日	オープンキャンパス				
5	水				5	金	こどもの日			5	月		⑨	⑨		
6	木				6	土		④	④	6	火		⑨	⑨		
7	金	授業ガイダンス 履修登録期間	①	①	7	日				7	水	定例教授会	⑦	インターンシップ 授業④	⑦	
8	土		①	①	8	月		⑤	⑤	8	木		⑧	⑧	野外活動演習	
9	日				9	火		⑤	⑤	9	金		⑨	⑨		
10	月		①	①	10	水	創立記念日 定例教授会	③	③	10	土		⑨	⑨		
11	火		①	①	11	木		④	④	11	日					
12	水		①	インターンシップ 授業ガイダンス	①	12	金	⑤	⑤	12	月	授業見学会 6/12~6/17	⑩	⑩		
13	木	履修登録締切	①	①	13	土		⑤	⑤	13	火		⑩	⑩		
14	金		②	②	14	日	大学ミニ・短大ミニ オープンキャンパス			14	水		⑧	インターンシップ 授業⑤	⑧	
15	土		②	②	15	月		⑥	⑥	15	木		⑨	⑨		
16	日				16	火		⑥	⑥	16	金		⑩	⑩		
17	月		②	②	17	水		④	介護等体験学外 講師講話・報告会 インターンシップ 授業①	④	介護等体験学外 講師講話・報告会 保育実習報告会 (1・2年5校時)	④	⑩	⑩		
18	火		②	②	18	木		⑤	⑤	18	日					
19	水		②	教育実習学外講 師講話(中・高) 大4,保2	②	19	金	⑥	⑥	19	月	教員採用試験 直前対策講座 6/19~7/2	⑪	⑪		
20	木		②	②	20	土		⑥	⑥	20	火		⑪	⑪		
21	金		③	③	21	日				21	水		⑨	インターンシップ 授業⑥	⑨	
22	土		③	③	22	月		⑦	⑦	22	木		⑩	⑩		
23	日	短大ミニ オープンキャンパス			23	火		⑦	⑦	23	金		⑪	⑪		
24	月		③	③	24	水		⑤	インターンシップ 授業②	⑤	24	土		⑪	⑪	
25	火		③	③	25	木		⑥	⑥	25	日					
26	水	体力テスト	授業なし		26	金		⑦	⑦	26	月		⑫	⑫		
27	木		③	③	27	土		⑦	⑦	27	火		⑫	⑫		
28	金		④	④	28	日				28	水		⑩	インターンシップ 授業⑦	⑩	
29	土	昭和の日			29	月		⑧	中・高 教育実習	⑧	幼・小 教育実習	29	木		⑪	⑪
30	日				30	火		⑧	⑧	30	金		⑫	⑫		
					31	水		⑥	インターンシップ 授業③	⑥						

6月17日

6月24日

7					8					9				
日	曜日	行事予定	大学: 体育学部 短大: 保健体育	短大: こどもスポーツ教育	日	曜日	行事予定	大学: 体育学部 短大: 保健体育	短大: こどもスポーツ教育	日	曜日	行事予定	大学: 体育学部 短大: 保健体育	短大: こどもスポーツ教育
1	土		⑫	⑫	1	火			試験 前期試験	1	金		大2ab 集中 アスレチック	
2	日				2	水			試験	2	土	大学・保体 夏季休業終了		
3	月		⑬	⑬	3	木			試験	3	日			
4	火		⑬	⑬	4	金	オープンキャンパス		夏季休業開始	4	月		試験 大学・保体 前期試験開始	こ2 追再試
5	水	定例教授会	⑪	インターシップ 授業⑧	⑪	5	土			5	火		試験	こ2 追再試
6	木		⑫	⑫	6	日				6	水	定例教授会	試験	こ2 追再試
7	金		⑬	⑬	7	月				7	木		試験	
8	土		⑬	⑬	8	火				8	金		試験	(保育実習Ⅱ・Ⅲ)
9	日			海浜実習		9	水			9	土			夏季休業終了
10	月		⑭	⑭	10	木				10	日			
11	火		⑭	⑭	11	金	山の日			11	月	学力保障期間 教師力養成講座 (観察実習)	大2cd 集中 アスレチック	
12	水		⑫	⑫	12	土				12	火			
13	木		⑬	⑬	13	日				13	水			
14	金		⑭	⑭	14	月				14	木			
15	土		⑭	⑭	15	火				15	金			
16	日	オープンキャンパス				16	水			16	土	追再試期間	追再試	
17	月	海の日				17	木			17	日	短大ミニ オープンキャンパス		
18	火	補講日・補習 期間	補講	⑮		18	金			18	月	敬老の日		
19	水		⑬	⑬	教育実習(幼稚園)Ⅱ実習 報告会(4校時)	19	土			19	火		追再試	追再試
20	木		⑭	⑭		20	日			20	水		追再試	追再試
21	金		補講	⑮		21	月			21	木		追再試 大2ef 集中 アスレチック	追再試
22	土		補講	⑮		22	火			22	金			
23	日					23	水			23	土	秋分の日 総合型選抜9月		
24	月	授業見学会 7/24~7/26	補講	⑮		24	木			24	日			
25	火		補講	水⑭		25	金			25	月			
26	水		⑭	⑮		26	土			26	火	後期 オリエンテーション		
27	木		補講	⑮		27	日	オープンキャンパス		27	水			
28	金	大学・保体 夏季休業開始		大3・4集中 アスレチック	補講	28	月			28	木			
29	土				補講	29	火			29	金	後期 授業ガイダンス 履修変更期間	①	①
30	日			遠隔授業 期間 ⑮		30	水			30	土		①	①
31	月			キャンプ実習	補講	31	木			10月5日				

○大学・保体:海浜実習

8月4日

10					11					12						
日	曜日	行事予定	大学:体育学部 短大:保健体育	短大: こどもスポーツ教育	日	曜日	行事予定	大学:体育学部 短大:保健体育	短大: こどもスポーツ教育	日	曜日	行事予定	大学:体育学部 短大:保健体育	短大: こどもスポーツ教育		
1	日				1	水	定例教授会	⑤	ゼミ・専攻コース ガイダンス	⑤		1	金	⑧		⑧
2	月		①	①	2	木		⑤		⑤		2	土	⑨		⑨
3	火		①	①	3	金	文化の日・藤園祭					3	日			
4	水	定例教授会	①	①	4	土	藤園祭 大学ミニ・短大ミニ オープンキャンパス	授業なし			4	月		⑨		⑨
5	木		①	①	5	日						5	火	⑩		⑩
6	金		②	②	6	月		⑤		⑤		6	水	定例教授会	⑩	⑩
7	土		②	②	7	火		⑥		⑥		7	木	⑨		⑨
8	日	大学ミニ・短大ミニ オープンキャンパス			8	水		⑥	教育実習学生 報告会(中・高) 大3, 保1	⑥		8	金	⑨		⑨
9	月	スポーツの日			9	木		⑥		⑥		9	土	短大ミニ オープンキャンパス	⑩	⑩
10	火		②	②	10	金		⑥		⑥		10	日			
11	水		②	②	11	土		⑥		⑥		11	月	⑩		⑩
12	木		②	②	12	日						12	火	⑪		⑪
13	金		③	③	13	月		⑥		⑥		13	水	(卒業研究発表会)	⑪	午後授業なし ⑪ 午後授業なし
14	土	総合型選抜10月 大学3年次編入 選抜Ⅰ期	③	③	14	火		⑦		⑦		14	木	⑩		⑩
15	日				15	水		⑦		⑦	教育実習学生 報告会(小) こ1, 科目等	15	金	⑩		⑩
16	月		②	②	16	木		⑦		⑦		16	土	⑪		⑪
17	火		③	③	17	金	学校推薦型選抜	授業なし			17	日	総合型選抜12月			
18	水	臨時教授会	③	③	18	土		⑦		⑦		18	月	⑪		⑪
19	木		③	③	19	日						19	火	⑫		⑫
20	金		④	④	20	月		⑦		⑦		20	水	臨時教授会	⑫	⑫
21	土		④	④	21	火		⑧		⑧		21	木	⑪		⑪
22	日				22	水	臨時教授会	⑧		⑧		22	金	⑪		⑪
23	月		③	③	23	木	勤労感謝の日					23	土	⑫		⑫
24	火		④	④	24	金		⑦		⑦		24	日			
25	水		④	④	25	土		⑧		⑧		25	月	冬季休業開始		
26	木		④	④	26	日						26	火	遠隔授業 期間 ⑮		
27	金		⑤	⑤	27	月		⑧		⑧		27	水			
28	土		⑤	⑤	28	火		⑨		⑨		28	木			
29	日				29	水		⑨		⑨	保育実習Ⅱ・Ⅲ 学生報告会(仮)	29	金			
30	月		④	④	30	木		⑧		⑧		30	土			
31	火		⑤	⑤								31	日			

1					2					3					
日	曜日	行事予定	大学: 体育学部 短大: 保健体育	短大: こどもスポーツ教育	日	曜日	行事予定	大学: 体育学部 短大: 保健体育	短大: こどもスポーツ教育	日	曜日	行事予定	大学: 体育学部 短大: 保健体育	短大: こどもスポーツ教育	
1	月	元日			1	木	一般選抜 大学3年次編入 Ⅱ期・転入学選抜			1	金				
2	火				2	金	後期試験	試験	試験	2	土				
3	水				3	土		試験	試験	3	日				
4	木				4	日				4	月			保育実習Ⅰ (施設)	
5	金				5	月		試験	試験	5	火				
6	土				6	火		試験	試験	6	水	定例教授会			
7	日				7	水	定例教授会 共通テスト利用 選抜Ⅰ期	試験	試験	7	木	総合型選抜3月 共通テスト利用 選抜Ⅱ期			
8	月	成人の日			8	木				8	金				
9	火	5/10振替 全館停電	冬季休業終了			9	金				9	土			
10	水	定例教授会 補講日・補習期間	補講	12/13PM 振替授業	補講	12/13PM 振替授業				10	日				
11	木		⑫		⑫		11	日	建国記念日	11	月	臨時教授会	春季休業開始		
12	金		⑫		⑫		12	月	振替休日	12	火				
13	土	共通テスト (授業あり)	⑬		⑬		13	火	創作オペレッタ 後期追試験期間	13	水				
14	日	共通テスト					14	水	臨時教授会	14	木				
15	月		⑫		⑫		15	木		保育実習Ⅰ (保育所)	15	金			
16	火		⑬		⑬		16	金	教員採用試験対策 春期集中講座 2/16~3/1	16	土				
17	水		⑬		⑬		17	土	スノーボード実習	17	日	オープンキャンパス			
18	木		⑬		⑬		18	日		18	月				
19	金		⑬		⑬		19	月		19	火	卒業ガイダンス			
20	土	総合型選抜Ⅰ月	⑭		⑭		20	火	海外英語・文化講座	20	水	卒業式 春分の日			
21	日						21	水		21	木				
22	月		⑬		⑬		22	木	スキー実習	22	金				
23	火		⑭		⑭		23	金	天皇誕生日	23	土				
24	水	研究フォーラム 臨時教授会	⑭		⑭		24	土	短大ニ オープンキャンパス	24	日				
25	木		⑭		⑭		25	日		25	月				
26	金		⑭		⑭		26	月	教師力養成講座 (観察実習) 2/26~3/1	26	火				
27	土		補講		補講		27	火		27	水				
28	日						28	水	卒業認定会議	28	木				
29	月		⑭		⑭		29	木	教員免許状一括申請 者決定	29	金				
30	火		補講		補講		30	土		30	日		春季休業終了		
31	水	後期試験(1・2) 入試準備PM					31	日		31	月				